

- ・ 新型コロナウイルス感染症の報告が630例(男性307例(10歳代33例, 20歳代71例, 30歳代52例, 40歳代42例, 50歳代30例, 60歳代23例, 70歳代28例, 80歳代19例, 90歳代3例, 年齢非公開6例), 女性310例(10歳代32例, 20歳代55例, 30歳代27例, 40歳代52例, 50歳代39例, 60歳代31例, 70歳代20例, 80歳代35例, 90歳代11例, 年齢非公開8例), 年齢及び性別非公開13例)あり, 本年の累積報告数は1,375例になりました。
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が2例(ともに70歳代男性)(とも第1週追加報告分)ありました。本年の1例目及び2例目の報告です。
- ・ インフルエンザは, 市内69の定点医療機関からの報告はありませんでした。京都市のインフルエンザの発生状況は下記のホームページをご参照ください。
○京都市のインフルエンザの発生状況(衛生環境研究所)
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>
- ・ 小児科定点把握感染症の推移は, 前週までと大きな変化はなく, 流行の兆候の見られる感染症はありません。

◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

京都市の新型コロナウイルス感染症の患者数は昨年の第42週(令和2年10月12日～18日)頃から増加に転じ, 第2週の新型コロナウイルス感染症の患者数は630例で, 1週間当たりの患者数としては, これまでで最多となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 1例(肺結核 なし, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 なし)
【1月以降の累積報告数 5例(肺結核 2例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 なし】
- ・ 指定感染症:新型コロナウイルス感染症 630例【1月以降の累積報告数 1,375例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 2例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

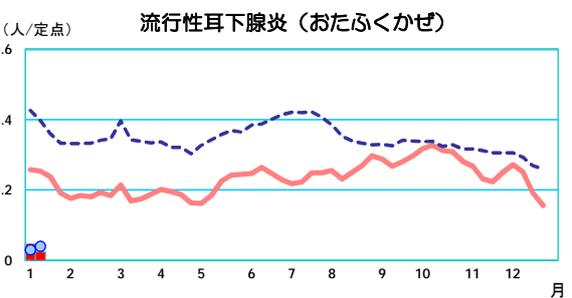
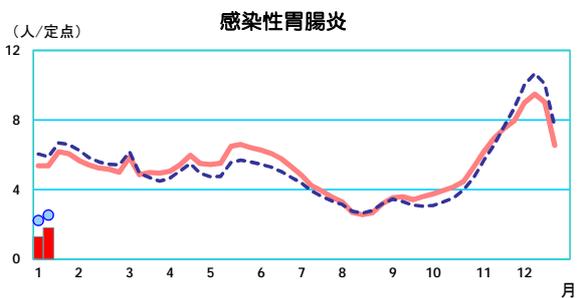
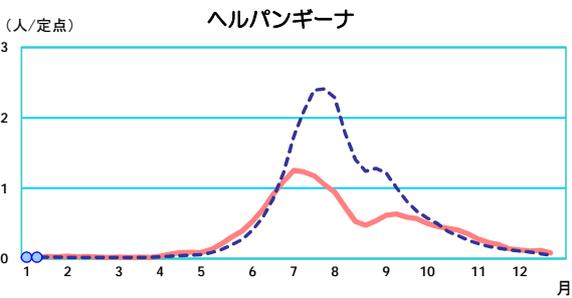
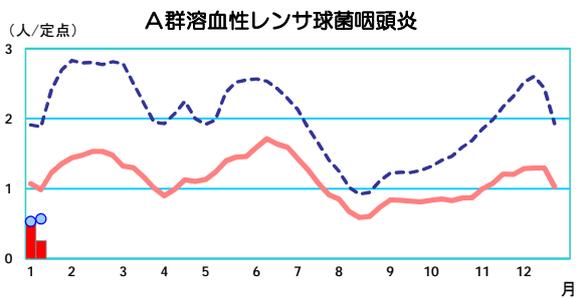
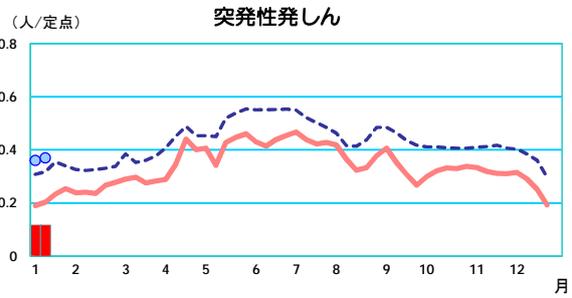
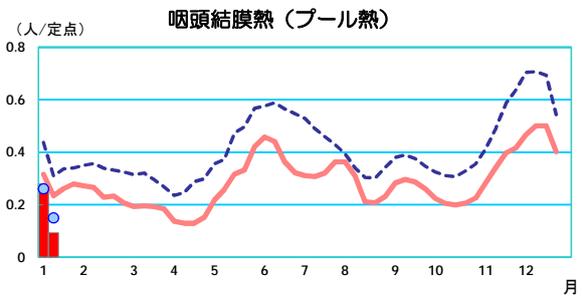
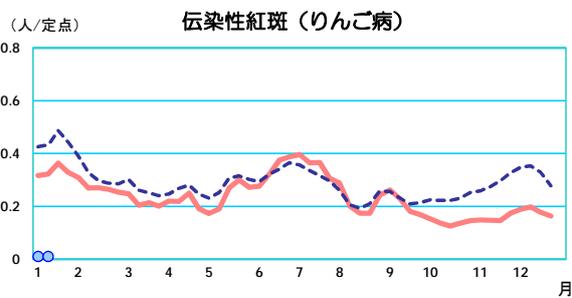
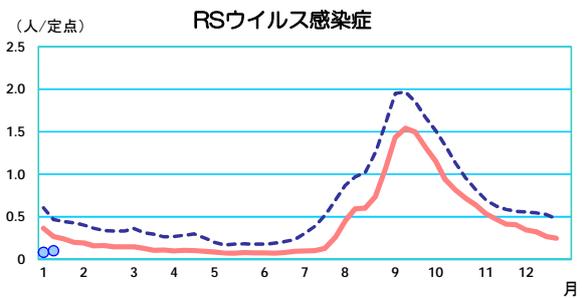
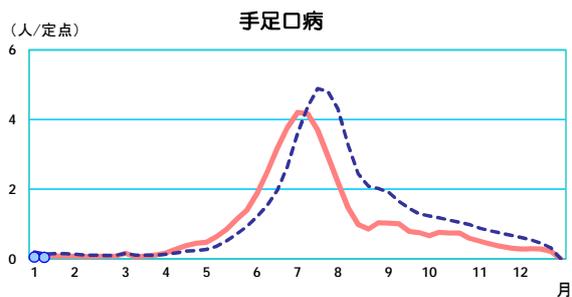
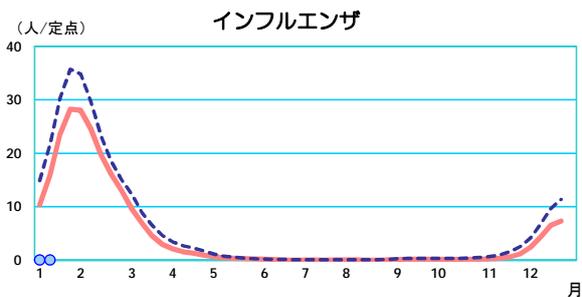
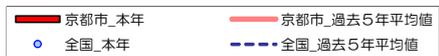
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	1.79	77
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.26	11
	③ 突発性発しん	0.12	5
	④ 咽頭結膜熱	0.09	4
	⑤ 水痘	0.07	3
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

【次ページ以降の主な内容】

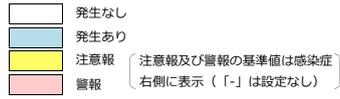
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2021年1月20日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

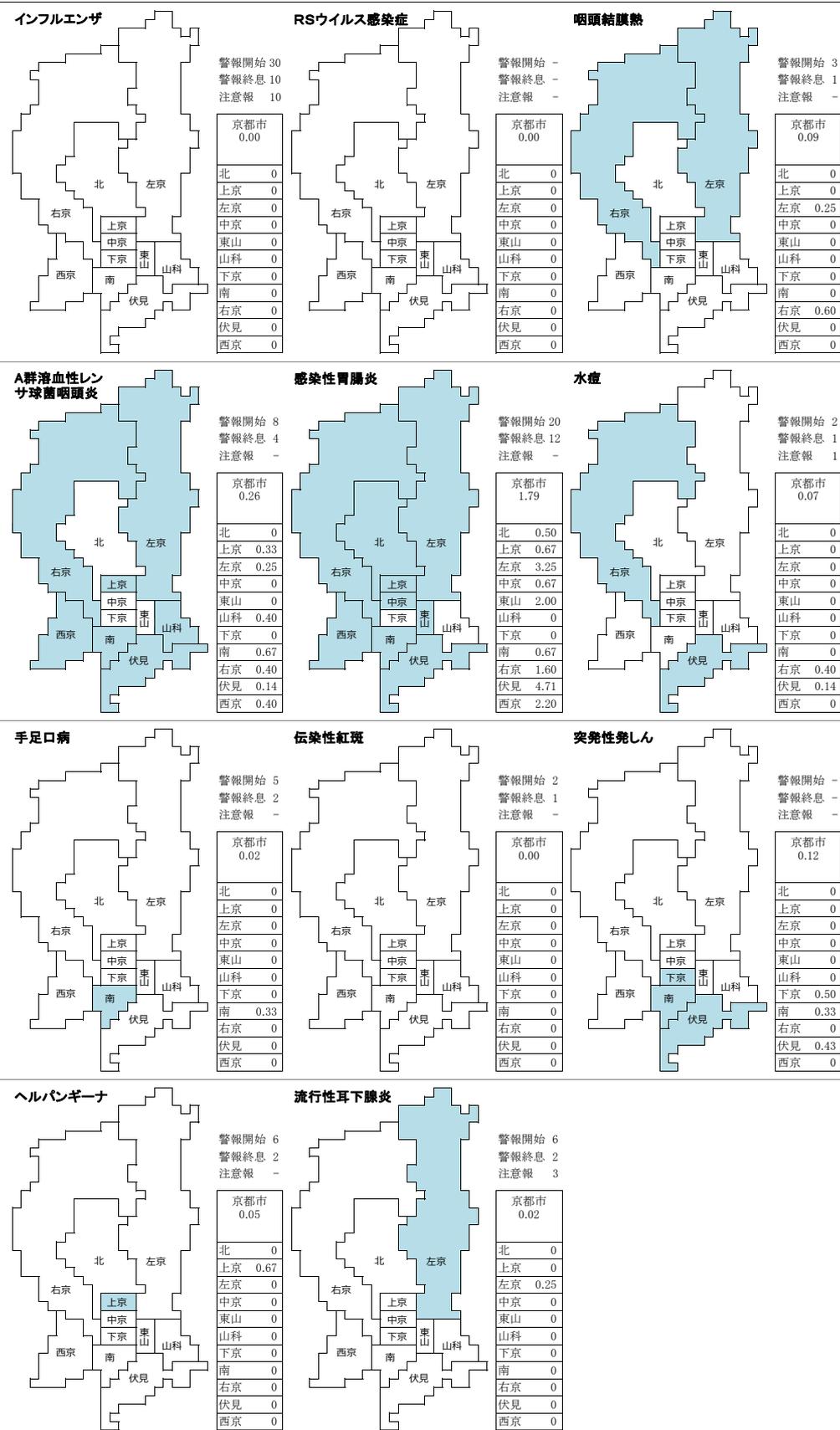
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年第2週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。

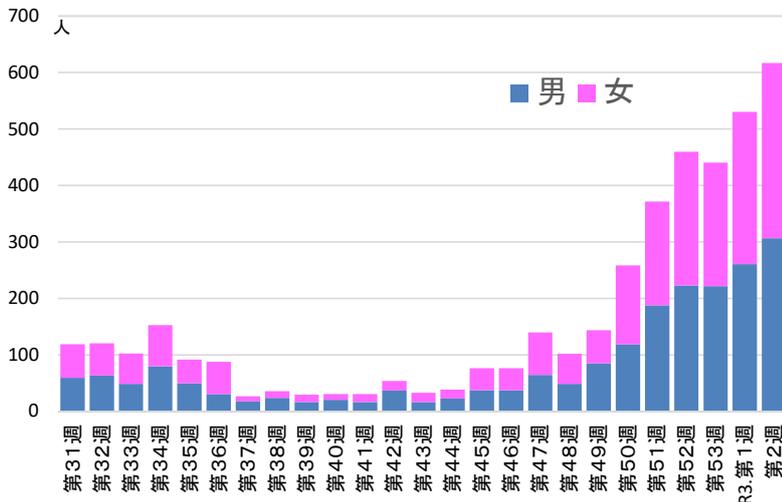


第2週(1月11日～1月17日)トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

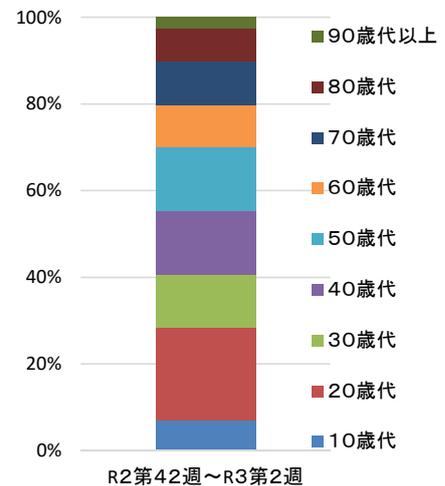
京都市の新型コロナウイルス感染症の患者数は昨年の第42週(令和2年10月12日～18日)頃から増加に転じ、第2週の新型コロナウイルス感染症の患者数は630例で、1週間当たりの患者数としては、これまでで最多となりました(図1)。本年1月1日からの累積患者数はすでに1,375例となっています。性別には顕著な偏りはなく、今週及び他の週を見ても男性と女性がほぼ同じ割合となっています(図1)。

京都市の年齢階級別の患者の割合を「第3波」とも言われている、昨年の第42週以降で見ると、最多は20歳代ですが、高齢者から子どもまで全年齢層に広がっているうえ、とりわけ重症化しやすい70歳以上の高齢者も全体の約20%を占めているため、今後も特に注意が必要です。

(図1) 週ごとの患者数の推移 (令和2年第31週～令和3年第2週)



(図2) 患者の年齢階級別割合



感染拡大を防止するため、京都府では2月7日まで新型コロナウイルス特別措置法に基づく緊急事態宣言を发出中であり、以下のような緊急事態措置がとられています。

- 不要不急の外出自粛(特に午後8時以降)
- 催物(イベント等)の開催制限
- 施設の使用制限等(飲食店等の営業時間短縮要請、遊技場・劇場等への協力依頼)
- 職場への出勤等(出勤者の7割削減、時差出勤の推進等)
- 大学等への要請(感染防止対策・遠隔授業等による学修機会の確保、感染リスクの高い課外活動の自粛等)

新型コロナウイルス感染症の予防方法は、人と人の接触を出来るだけ低減することです。「かからない」「うつさない」ために以下の対策が必要です。

- 手洗いが重要です。外出先から帰宅時や調理の前後、食事の前などにこまめに石けんと流水で手を洗いましょう。
- 飛沫を抑制するためにもマスクを着用しましょう。
- 人との距離の適切な確保、人混み避けるなどの「三密を避ける」基本的な習慣や行動が感染予防に最も重要です。



発熱等の症状がある場合

- ・「熱がある」「体がだるい」「のどが痛い」等、風邪の症状がある時は、身近な医療機関に、まず電話でご相談ください。
- ・詳しくは、下記の京都市ホームページをご覧ください。

○京都市情報館「発熱等の症状のある方の診療・検査体制について」

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000277047.html>

○厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

○京都市では、新型コロナウイルス感染症の最新の動向を提供しています。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第2週

疾病,行政区別報告数

2021年1月11日～2021年1月17日

データ入手日:2021年1月20日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	1	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	1	1	13	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	2	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	3	2	8	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	1	33	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	2	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	4	11	77	3	1	-	5	2	1	-	1	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	0.33	0.67	-	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	0.25	0.25	3.25	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	0.67	0.67	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	0.60	0.40	1.60	0.40	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	0.14	4.71	0.14	-	-	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	0.40	2.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	0.09	0.26	1.79	0.07	0.02	-	0.12	0.05	0.02	-	0.10	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第2週

年齢階級, 疾病別報告数

2021年1月11日～2021年1月17日

データ入手日:2021年1月20日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		4	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		11	-	-	1	2	1	1	-	-	1	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		77	2	5	10	17	3	5	5	2	2	3	2	6	1	14	-	-	-	-	-	-
水痘		3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		5	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.09	-	-	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.26	-	-	0.02	0.05	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	0.09	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		1.79	0.05	0.12	0.23	0.40	0.07	0.12	0.12	0.05	0.05	0.07	0.05	0.14	0.02	0.33	-	-	-	-	-	-
水痘		0.07	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.12	-	0.02	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.05	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第2週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年1月20日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	1	-	-	1	1	-
RSウイルス感染症	-	-	-	1	-	-
咽頭結膜熱	18	15	8	1	12	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	35	20	14	23	11
感染性胃腸炎	78	71	79	30	55	77
水痘	7	6	7	2	6	3
手足口病	1	3	1	-	-	1
伝染性紅斑	-	1	1	-	-	-
突発性発しん	6	10	10	6	5	5
ヘルパンギーナ	9	4	4	1	1	2
流行性耳下腺炎	-	1	1	-	2	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	-	2	-	2	1
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	144	146	133	56	107	105

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.01	-	-	0.01	0.01	-
RSウイルス感染症	-	-	-	0.02	-	-
咽頭結膜熱	0.42	0.35	0.19	0.02	0.28	0.09
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.44	0.81	0.47	0.33	0.53	0.26
感染性胃腸炎	1.81	1.65	1.84	0.70	1.28	1.79
水痘	0.16	0.14	0.16	0.05	0.14	0.07
手足口病	0.02	0.07	0.02	-	-	0.02
伝染性紅斑	-	0.02	0.02	-	-	-
突発性発しん	0.14	0.23	0.23	0.14	0.12	0.12
ヘルパンギーナ	0.21	0.09	0.09	0.02	0.02	0.05
流行性耳下腺炎	-	0.02	0.02	-	0.05	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.50	-	0.20	-	0.20	0.10
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	3.72	3.40	3.25	1.29	2.63	2.52

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。